



News Release

Coca-Cola Central Japan Company, Limited

2007年12月4日

報道関係 各位

コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社

コカ・コーラのサンタが養護学校訪問 “コークドリーム2007” 「楽しいクリスマス」のひとときを提供

コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社（代表取締役社長：高橋頭三、本社：横浜市西区みなとみらい2-2-1）は、福祉施設に“さわやかなクリスマス”をお届けするクリスマスイベント“コークドリーム2007”を12月13日(木)に県立沼津養護学校と県立東部養護学校にて実施します。静岡県での実施は今年で6回目になります。

“コークドリーム”は、コカ・コーライベントキャラバン（ ）のチャリティ収益金を活用して、1996年から社会貢献活動の一環として行っているもので、毎年クリスマスの時期にあわせて福祉施設を訪問し、サンタと一緒に楽しいクリスマスのひとときを過ごしていただくというものです。

内容は、同社のキャラバン隊がサンタクロースとサンタガールを連れて福祉施設を訪問し、クリスマスソングを皆で一緒に歌ったり、サンタクロースからステキな贈り物やクリスマスケーキ、飲み物をプレゼントします。そして、テレビをはじめ全国各地で活躍するスーパー・ジャグリング・エンターティナー「ダンディGO」さんのパフォーマンスショーもセットした楽しい企画となっています。



コークドリーム（過去の実施の様子）

コカ・コーライベントキャラバン...地域貢献活動として1994年にスタート。各地のイベント会場でゲームやステージショーを実施し、コカ・コーラと地域の皆さまとの交流の場を提供しています。また、イベント時にチャリティゲームを実施し、収益金を福祉団体や福祉施設等に寄付しています。

【参考資料】

コークドリーム 2007 企画概要

1. 名称 : コークドリーム 2007
2. 主催 : コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社
3. 実施日 : 12月13日(木)
4. 訪問先 :
午前10:10~11:10 県立沼津養護学校 (参加者:約250名)
住所 沼津市大塚 823-1
午後1:20~2:20 県立東部養護学校 (参加者:約120名)
住所 伊豆の国市寺家 235
5. 内容:
コカ・コーラサンタ&サンタガール
ユーモラスなサンタが全体の進行役です。
パフォーマンスショー
スーパーフォーマー「ダンディGO」が楽しいショーを披露します。
クリスマスソング合唱
コカ・コーラサンタやサンタガールと一緒に皆さんでクリスマスソングを歌います。
ドリンク・クリスマスケーキ プレゼント
コカ・コーラ製品とクリスマスケーキでおもてなしします。
クリスマスプレゼント
コカ・コーラサンタからコカ・コーラのオリジナルグッズのプレゼントです。



ダンディGO

本件に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社

広報・CSR推進部 秋谷・塩原

TEL . 045 - 222 - 5853

サンタクロースの歴史とコカ・コーラ（コカ・コーラ サンタ 今年で76周年）

クリスマスの主役として親しまれている、白いひげをたくわえ大きな体を真っ赤な衣装に包んで子供たちのもとへやってくるサンタクロース。この誰もが思い浮かべるサンタクロースのイメージは、実は「コカ・コーラ」の広告キャラクターがそのルーツであったことをご存知でしょうか？

「コカ・コーラ サンタ」が初めて登場したのは今から76年前の1931年。「サタデー・イブニング・ポスト」(The Saturday Evening Post)、「レディース・ホーム・ジャーナル」(Ladies Home Journal)、「ナショナル・ジオグラフィック」(National Geographic)その他の米国の雑誌に、印刷広告シリーズとしてお目見えしました。サンタクロースそのものは、4世紀ごろ小アジアに実在した守護聖人・聖ニコラスの伝説を起源とし、1800年代の半ばにはクリスマスに欠かせないキャラクターとして当時既に広く知られていました。しかし一方で、人々が共通して思い描くサンタクロース像というものは存在せず、サンタクロース自身の起源について諸説が語られ、さまざまな姿を取っていました。何世紀もの間、サンタの視覚イメージは愉快的な老人の小人や妖精、果ては恐ろしげな小鬼まで、多様なものでした。

1931年にザ コカ・コーラ カンパニーが、当時コカ・コーラ社の広告アートを担当していたハドン・サンドブロムにクリスマスキャンペーンへの協力を依頼した際、彼はサンタのイメージに今までの認識を一新させるような、温かみのある人間的な要素を吹き込み、トレードマークであるバラ色の頬、美しい白いあごひげ、キラキラ光る瞳、笑いじわのあるサンタを作り上げました。そのイラストは人々の心をとらえ、「コカ・コーラ」自体が全世界に広まりサンタを使ったクリスマス広告が海外にも進出するにつれ、たちまちのうちにクリスマスの不朽のシンボルとして広く定着していきました。そしていまや「コカ・コーラ サンタ」は広告における当初の役割を超えて、クリスマス・シーズンの不朽のシンボルとして、また人気のあるサンタクロース像として世界中で親しまれています。

1920年代から1976年に逝去するまで、広告およびクリエイティブ業界の伝説的人物として活躍したハドン・サンドブロムは、「コカ・コーラ」のために40点以上のサンタクロース像を直筆の油絵で創作しました。最後の作品は1964年のもので、第一作目の誕生から33年もの年月が経っていました。今日でも使用されているさまざまなサンタの肖像は、新聞広告、広告看板、ポスター、店舗ディスプレイ、パッケージ、その他数々のコレクターズ・アイテムを彩ってきました。その影響力の証しとして、サンドブロムの直筆サンタ像の多くは権威ある美術館、ショッピングのメッカ、地元でよく知られる会場で展示されてきました。例として、パリのルーブル美術館、トロントのロイヤル・オンタリオ博物館、シカゴの科学産業博物館、東京の伊勢丹百貨店、ストックホルムのNKデパートなどがあります。



1931年に「サタデー・イブニング・ポスト」に掲載された
ハドン・サンドブロム氏によるサンタクロース